

アルケマは「環境」をテーマにした高機能製品を基盤に中・長期の成長を目指している。主軸となるのはヒマシ油をベースにしたポリアマイド(PA)11「リルサン」と関連製品だ。厳しい事業環境の影響を受けて、2009年のアルケマの業績は前年を下回っているものの、中・長期の戦略は不変だ。環境をテーマにした製品は、今後の事業戦略の要である。

アルケマ



ティエリー・ヴァスラン社長

その代表がリルサンで、ヒマシ油を原料にモノマーの「11-アミノウンデカン酸」を生産、これを重合して製品化する。60年を超える歴史を持つ植物由来の樹脂で、耐摩耗性、耐熱性、低温度衝撃性、耐圧性、耐薬品性に優れる。自動車、電気・電子、スポーツ用品など加工性に優れ、軽量、幅広い

多様な分野で使われている。リルサンで培った知見をベースに多様な環境対応のエンジニアリングプラスチックを開発してきた。高機能

柔軟性と硬度のバリエーションを誇る。優れた屈曲疲労性、低温での優れた柔

軟性と耐衝撃性、優れた反発弾性といった特徴もある。スポーツ用品など多様な用途が見込まれる。

「リルサン クリアー」や「リルサン ファイバウダー」も有力な製品だ。リルサン クリアーは高機能透明PAで、透明性や柔軟性、耐久性、低密度性を兼ね備え、高透明性が求められる用途で採用を期待している。リルサン ファイバウダーは重防食性や耐薬品性、耐摩耗性などに富み、粉末塗料向けを軸に市場を

製品群の育成・拡大に加え、日本企業とのアラニアンスの構築も重要なテーマだ。ダイキン工業とはハイドロフルオロカーボン125のプラントを建設するプロジェクトを中国で進めており、同様の関係をさらに作り上げていく。

高機能製品、環境テーマに

主軸はPA11・関連製品

中心にさら
に成長を見
込んでい
る。こ